

医療システムにおける 画期的イノベーションの役割

コーディネーター： 慶應義塾大学大学院 SDM 研究科教授 手嶋龍一
慶應義塾大学大学院 SDM 研究科特任教授 久能祐子

ご挨拶： 慶應義塾大学大学院 SDM 研究科委員長、教授 前野隆司

第一部 講演会

岡野栄之 | MD, PhD | 慶應義塾大学医学部教授、医学研究科委員長
「iPS細胞及び遺伝子改変霊長類遺伝子を用いた
神経系の再生・疾患・創薬研究」

上野隆司 | MD, PhD, PhD | スキャンポファーマシューティカルズ インク CEO 兼 CSO
「細胞再生の夢を追う - プロストンテクノロジー」

第二部 パネルディスカッション

「日本発イノベーションは世界で勝ち残ることができるか」
岡野栄之、上野隆司、前野隆司、手嶋龍一、久能祐子

パネリスト



岡野栄之
慶應義塾大学医学部教授、医学研究科委員長

岡野栄之慶應義塾大学医学部教授、医学研究科委員長iPS細胞を用いた脊髄再生研究に取り組む。また最近では世界で初めて霊長類であるマモセットを用いて、遺伝子改変霊長類の作出し、最先端研究開発支援プログラムの中心研究者として「心を生み出す神経基盤の遺伝学的解析の戦略的展開」に取り組んでいる。2007年より慶應義塾大学医学研究科委員長、2009年には紫綬褒章を受章。



上野隆司
医薬発明家、医師、医学博士、薬学博士

1980年代、新しいタイプの機能性脂肪酸群（プロストン）を発見し自ら創業に着手。1000に近い発明特許を全世界で取得すると共に、緑内障及び高眼圧症治療薬レスキュラ®点眼液と特発性慢性便秘および過敏性腸症候群治療薬アミティーザ®の開発に成功した。自らのイノベーションから2つの新薬を作り出したのは極めて希少なケースとされる。日経ビジネス日本イノベーター大賞優秀賞受賞、Ernst and Young Entrepreneur of the Year Award for the Greater Washington Area in the Life Sciences Categoryなど受賞歴多数。慶應義塾大学医学部卒、医師、医学博士、薬学博士



前野 隆司
慶應義塾大学大学院SDM研究科委員長、教授

ロボット、ヒューマンマシンインタフェース、脳科学から地域連携まで、人間がかかわるシステムのデザインとマネジメントの研究、教育に従事。2008年よりグローバルCOEプログラム「環境共生・安全システムデザインの先導拠点」拠点リーダー。2011年4月より慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長就任。



手嶋 龍一
慶應義塾大学大学院SDM研究科教授

NHKワシントン支局長やボン支局長を歴任。外交・安全保障の分野で数多くの著作がある。代表作には次期支援戦闘機の研究・開発をめぐる日米の暗闘を描いた『たそがれゆく日米同盟』（新潮文庫）、湾岸戦争時の日本外交の迷走ぶりを活写した『外交敗戦』（新潮文庫）などがある。SDM研究科では、インテリジェンス論を担当。この分野の著作では、『インテリジェンス武器なき戦争』（幻冬舎、共著）、『インテリジェンスの賢者たち』（新潮文庫）がある。SDM研究科では、社会中枢システムラボを主宰。ハーバード大学国際問題研究所のシニア・フェロー。



久能祐子
慶應義塾大学大学院SDM研究科特任教授

1980年代より日米両国で医薬品開発のプロジェクトマネジメントに携わる。上野隆司博士と共に設立したスキャンポファーマシューティカルズインクでは創業CEOとして新規事業の立上げと経営を手がけた。サイエンスビジネスの経営戦略やグローバル展開にも詳しい。京都大学工学部卒業、ミュンヘン工科大学特別研究員、ジョージタウン大学国際企業経営課程修了。2010年11月より現職。工学博士

10/4(火) 17:00~19:00

慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館3階 CDF室 (C3S10)

入場無料 (事前登録が必要です)

お問い合わせ・登録 ▶ www.sdm.keio.ac.jp